

歴史・文化財

～いにしえ色に染まる、ときめきの時～



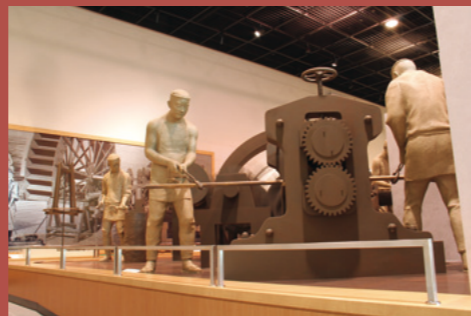
膝折宿の様子 (ジオラマ模型)



復元住居 [古墳時代] (復元模型)



市内で出土した縄文土器



水車による伸銅一圧延 (復元模型)



考古・歴史・民俗・美術工芸の4分野から郷土朝霞を紹介する常設展示と企画展示を中心に、さまざまな講座・講演会や体験学習といった催しからなる“まなびとやすらぎの空間”です。

朝霞市博物館

Asaka City Museum



①市指定有形文化財 絹本着色両界曼荼羅



③県指定史跡 柁塚古墳



④市指定有形文化財 奥住家文書



②重要文化財 旧高橋家住宅



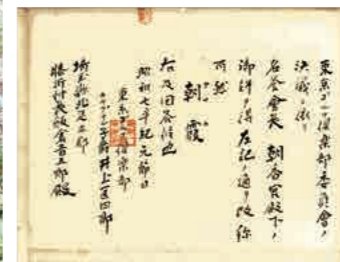
⑤市指定有形文化財 一夜塚古墳出土遺物



⑧県指定有形文化財 板石塔婆



⑥市指定天然記念物 湧水代官水



⑦市指定有形文化財 町名改称許可書



⑨市指定無形文化財 溝沼獅子舞

浪漫的薫りたたやう、その名もゆかしい朝霞の里。

この地に人の痕跡が認められるのは、遙か昔、今から3万年以上も前のこと。人々は石器を手に、黒目川や新河岸川流域などの台地のまわりでたくましく暮らし、ここに朝霞の原風景が広がっていました。

そして、漁や狩猟を行い、土器を用いた縄文時代を経て稲作が主流となる弥生時代を迎えます。生産性の高まりとともに、古墳時代には豪族が出現しました。柁塚古墳は、そうした時代に造られました。平安時代の終わりごろ、このあたり一帯は「広沢郷」と呼ばれ、鎌倉時代を通じて広沢氏が支配していました。室町時代以降は太田氏や北条氏が覇権を争っていました。

泰平の世を迎え、豊かな文化が花開いた江戸時代。

この地は、幕府直轄の「二天領」と旗本の「知行地」として統治され、ことに膝折宿は江戸と川越を結ぶ川越街道の4番目の宿場として栄えました。そのにぎわいは、どれほどだったでしょうか。また、このあたりは東日本における伸銅工業発祥の地としても知られています。

文明開化もなかなかの明治二十一年、近隣の村々が合併して「膝折村」と「内間木村」が生まれ、膝折村は昭和七年に朝霞町となり、同三十年には内間木村と合併しました。

そして昭和四十二年三月十五日、市制施行により朝霞市が誕生。遠い記憶をたどる時、歴史の浪漫とともに新しい未来が見えてくることでしょう。

①市指定有形文化財 絹本着色両界曼荼羅

宝蔵寺(宮戸)に伝わる仏教絵画の一つで、室町から江戸初期に制作されたと推定されています。胎蔵界曼荼羅と金剛界曼荼羅の二図で構成され、そこにはさまざまな仏の姿が金泥・朱などで色彩豊かに描かれています。

②重要文化財 旧高橋家住宅

旧高橋家住宅は、江戸中期、18世紀前半の建築と推定される農家建築です。周囲を土壁で囲んだ閉鎖的な構造で、シシマと呼ばれる格子窓がついています。内部には押板があり、2室が竹簀子床になっているなどの特徴があります。周囲には、納屋・倉等の附属屋のほか、畑や雑木林が広がり、武蔵野台地の農家の景観を今に伝えるものとして、敷地もあわせて重要文化財に指定されています。

③県指定史跡 柁塚古墳

墳丘の長さ約66m、後円部の径約48m、高さ8.5mを測り、県南部で唯一墳丘が残る前方後円墳です。周濠から馬形埴輪や円筒埴輪、埴頂部から家形埴輪などが出土しています。これらの出土品などから6世紀前葉につくられたと推定されています。

④市指定有形文化財 奥住家文書

膝折地区で江戸時代から伸銅業を営んできた奥住家に伝わっていた文書です。当時、黒目川を利用して盛んに行われていた水車稼働や伸銅業に関するものがほとんどで、特に伸銅創業に関する資料は他に例をみない貴重なものです。

⑤市指定有形文化財 一夜塚古墳出土遺物

平成24年9月1日、朝霞市指定有形文化財として文化財指定を

行いました。一夜塚古墳はかつて朝霞第二小学校の敷地内にありましたが、昭和18年に敷地拡張により掘削されました。その際出土したものが「一夜塚古墳出土遺物」で、朝霞市の古墳時代を代表する遺物であり、埼玉県の古墳時代を語る上でも貴重な資料です。

⑥市指定天然記念物 湧水代官水

平成22年9月1日に朝霞市指定天然記念物に指定されました。湧き水は現在も豊富な水量を保っており、湧き水に住む水辺の生物が確認されているほか、斜面林のクヌギやコナラ等の豊かな雑木林には、貴重な動植物が確認されています。

⑦市指定有形文化財 町名改称許可書

「朝霞」の名称の由来に関する文書です。昭和7年に町制施行を行う際に、町名を朝香宮(東京ゴルフ倶楽部名誉会長)にちなん

で朝霞町としたいとの膝折村当局の伺いに対する回答書で、まちづくりに対する当時の町民の機運を伝えるものです。

⑧県指定有形文化財 板石塔婆

正安3年(1301)の銘が刻まれ、梵字で表された不動曼荼羅と五輪塔が刻まれた非常に珍しい双式の板石塔婆で、ほとんど欠損もありません。

⑨市指定無形文化財 溝沼獅子舞

溝沼地区で毎年春と秋に行われる獅子舞です。江戸初期より疫病除け、悪魔払い、家内安全を祈念して行われていました。舞は、溝沼の氷川神社で行われますが、以前はもっと多くの場所で行われていました。